

朝長市長が12月定例市議会(12月3日開会)で報告した「市政の重要事項の報告」を抜粋、要約してお知らせします。提案した議案等の概要は次号に掲載する予定です。

韓国坡州市と釜山広域市西区  
記念訪問団の本市訪問



坡州市からYOSAKOIさせば祭りに参加した伝統芸術団「ホヨン」

本市と韓国<sup>バジュ</sup>坡州市は平成20年11月に国際親善都市提携を行い、平成25年の姉妹都市提携を経て、本年で交流10周年を迎えました。

この節目の年を記念し、10月20日から22日までの3日間、坡州市からイ・デジク副市長を団長とする行政・議会訪問団6人と伝統芸術団ホヨンの団員26人が、YOSAKOIさせば祭りの開催に合わせて本市を訪問されました。

訪問期間中はYOSAKOIさせば祭りでの華やかな演舞や坡州市長賞の授与などを通じて、多くの市民の皆さまと交流していただき、民間交流団体である長崎県日韓親善協会による歓迎交流行事も行われ、市民交流の推進を図ることができました。

また、韓国・釜山広域市西区からは、平成25年8月の国際親善都市提携から5周年の節目を迎えたことを記念して、11月6日から8日までの3日間、コン・ハンス区庁長を団長とする6人の行政訪問団の皆さまが本市を訪問されました。

訪問期間中、市民との交流行事として、長崎県日韓親善協会や長崎短期大学との共催による記念茶会を開催し、駐福岡大韓民国総領事にもご参加いただく中、茶道の披露とおもてなし行事を実施しました。

また、長崎短期大学と三ヶ町商店街振興組合が共同で取り組む地域活性化の事例紹介や釜山広域市西区で取り組まれている地域再生の事例紹介など、両都市にとって有意義な相互発表会が行われ、学び合う機会の創出と市民交流の推進を図ることができました。

「楠栖小放課後子ども教室」の文部科学大臣表彰

12月3日、「楠栖小放課後子ども教室」が平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞されました。

楠栖小放課後子ども教室は、平成18年の開始以降、楠栖小学校区の子どもたちに安全で安心な放課後の居場所と、多様な体験や交流を中心とした学習機会を提供されています。

今回の受賞は、地域の人材を大いに活用したプログラムを実施することで、子どもたちに多種多様な体験を積み重ねるとともに地域愛を育むことに寄与していることや、この活動を通じて地域住民と学校とのつながりが深まり、地域と学校の信頼関係も築かれていること、また、放課後子ども教室に携わる保護者を中心としたスタッフ、子どもの参加者がともに年々増加し、今後の広がりが期待されることなどが評価されたものです。

地域の方々による学校や子どもたちへの支援活動に対する文部科学大臣表彰は平成23年度から行われているもので、本市は8年連続の受賞となります。

全国大会における佐世保勢の活躍

「第53回全国高等専門学校体育大会陸上競技・第53回日本高等専門学校陸上競技対校選手権大会」(8月18日、19日、熊本県)の女子3,000mで、佐世保工業高等専門学校の迎真夢選手が昨年に引き続き2度目の優勝をされました。

「第73回国民体育大会福井しあわせ元気国体」(9月29日から10月9日、福井県)の山岳・ボルダリング・成年女子の部で、大河内<sup>まゆ</sup>香選手と原田<sup>せりか</sup>朝美<sup>あさみ</sup>選手が優勝されました。

大河内選手は第71回大会の山岳・リード競技・少年女子の部での優勝以来2度目の優勝になります。

これらの活躍は選手自身はもとより選手を支える関係者の皆さまの絶え間ない努力がもたらした成果であり、佐世保市民の大きな誇りです。

新たな雇用を生み出す「企業立地」の取り組み

本市では新たな雇用を生み出すため、「企業立地」を重点施策に掲げ、8つのリーディングプロジェクトの一つとして製造業やオフィス系企業などを中心とした企業誘致に積極的に取り組んでいます。ここでは新たに立地が決定した企業との立地協定調印式や市営工業団地「ウエストテクノ佐世保」の企業誘致の状況などについてお知らせします。

トランスコスモス社との立地協定  
3年間で400人を雇用予定



調印式で握手する(左から)朝長市長、船津トランスコスモス会長、中村県知事

昨年11月22日、本市は松川町に立地決定した「トランスコスモス株式会社」と長崎県との3者で立地協定調印式を行いました。調印式のあいさつで、同社船津康次代表取締役会長兼CEOは「佐世保進出への決め手は優秀な人材が安定して確保できること。地域に人の流れが生まれることで佐世保の地域振興に貢献したい」と話し、朝長市長は「就労の場ができることで周辺地域の活性化も期待できる」と歓迎の言葉を述べました。同社は企業の事業活動をサポートするBPO事業(ビジネスプロセスアウトソーシング事業)の国内大手企業です。本年1月に操業する「BPOセンター佐世保」では、経理、人事、調達などの業務が行われます。今後3年間で約400人の採用が予定されており、現在オープニングスタッフの募集を行っています。

トランスコスモス社 会社説明会

日程 1月17日(木)13時(12時30分受付)、14時30分(14時15分受付)

場所 ハローワーク佐世保

申込 ハローワーク佐世保 ☎ 88-2003 へ

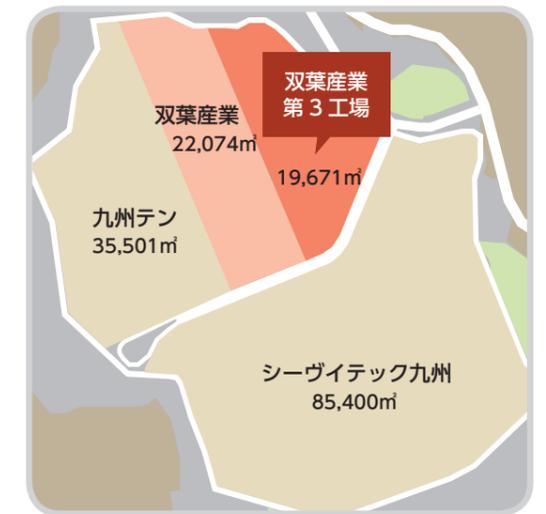
※採用に関する問い合わせは電話 ☎ 0120-500-842)

かEメール(bpo\_bos2\_recruit@trans-cosmos.co.jp)

でトランスコスモス株式会社(平日10時~17時)へ。

「ウエストテクノ佐世保」が完売  
約800人の雇用を創出

昨年12月、本市は市営工業団地「ウエストテクノ佐世保」の残り1区画(約2ヘクタール)を同工業団地内で操業している「双葉産業株式会社」に分譲しました。これにより同工業団地は約4年半という短期間で完売となりました。同工業団地には同社のほか、「株式会社シーヴィテック九州」や「株式会社九州テン」が操業されており、新規雇用計画は3社で約800人となっています。現在すでに660人を超える従業員が勤めていますが、そのうち100人はUJターンによるものであり、働く場の創出による流出人口の抑制だけでなく、流入人口増加にも貢献しています。



双葉産業 第3工場増設で350人規模の工場に

双葉産業株式会社では、長崎工場として第1工場、第2工場(昨年10月完成)で自動車用シートカバーの縫製を行っています。今回の取得地に第3工場を建設し、ヘッドレストやアームレストなどの自動車用内装品の製造が予定されています。工場の拡張に伴い新たに50人の雇用が計画されており、同社全体で350人規模の工場となります。本市では県や長崎県産業振興財団と共に可能な限り支援を行っていくこととしています。